

欧米の最新エネルギー情勢 -電力取引市場の設計と意義-

日時：2018年2月13日（火）10:00～17:50

於：京都大学 吉田キャンパス 本部構内

国際科学イノベーション棟 5F シンポジウムホール

【プログラム】

受付開始(9:30～)

開会(10:00～)山家公雄(京都大学大学院経済学研究科特任教授)

ご挨拶(10:05～)文 世一(京都大学大学院経済学研究科長)

○【報告1: 欧州の最新エネルギー情勢: 11月欧州調査報告】(10:15～12:30)

「Nord Poolの市場設計とその背景」小川祐貴(京都大学大学院)

「再生可能エネルギーの電力市場統合-ドイツの動向を中心に」中山琢夫(京都大学)

「デンマークとドイツの市場制度・運用方法の比較分析」東 愛子(尚絅学院大学)

パネルディスカッション 司会および総括: 諸富 徹(京都大学)

(昼食休憩 12:30～13:30)

○【報告2: 米国の最新エネルギー情勢: *Transactive-Energy* (取引可能電力)和訳本報告】

(13:30～15:20)

「概要、第1章 イントロダクション、第2章 エネルギー取引のビジョン」山家公雄(京都大学大学院経済学研究科特任教授)

「第3章 3本の柱: システム、接続、プロトコル」白石智宙(京都大学大学院)

「第4章 我々が直面するチャレンジとチャンス」廣田駿介(京都大学経済学部)

「第5章 なぜ取引可能電力なのか」陳 奕均(京都大学大学院)

「第6章 いかにしてTEモデルへ移行するか」杉本康太(京都大学大学院)

(休憩 15:20～15:30)

○【報告3: 特別講演】(15:30～17:00)

「ノルウェーの“緑のバッテリー”等を巡る政策的課題と展望」加藤修一(京都大学大学院経済学研究科特任教授)

「電力市場の基礎となるグリッド管理」内藤克彦(京都大学大学院経済学研究科特任教授)

「市場の失敗と政府の失敗 ～公平で効率的な市場設計とは～」安田 陽(京都大学大学院経済学研究科特任教授)

(休憩 17:00～17:10)

○【会場からの質問】(17:10～17:50) 司会: 中山琢夫

懇親会(18:00～)

講座ホームページよりお申込下さい。

www.econ.kyoto-u.ac.jp/renewable_energy/

主催: 京都大学大学院経済学研究科 再生可能エネルギー経済学講座

入場
無料

【シンポジウムの主旨】

パリ協定が発効し、低炭素社会へ向けた動きが加速している。再生可能エネルギーは、省エネルギーと並んで低炭素化への切り札と位置づけられており、その急激なコスト低下や新産業担い手への期待とも相まって、世界的には電力投資の主役となっている。その普及を促している要因として、取引市場整備が進んでいることが挙げられる。

本シンポジウムは、昨年11月に実施したドイツ、デンマーク、ノルウェー現地調査、この2月に発行される予定の米国専門家著『Transactive-Energy(取引可能電力)』和訳本の解説、当講座特任教授による研究成果を報告するものである。いずれも電力取引市場に焦点を当てている。

【講師紹介】



諸富 徹(もろとみ とおる)

京都大学大学院地球環境学学・経済学研究科教授。1998年同研究科博士課程修了。2010年から現職。内閣府経済社会総合研究所客員主任研究官、ミシガン大学客員研究員を歴任。『電力システム改革と再生可能エネルギー』日本評論社など著者多数。



山家 公雄(やまか きみお)

京都大学特任教授。エネルギー戦略研究所所長、山形県総合エネルギー顧問、豊田合成(株)取締役を務める。東京大学経済学部卒業、日本政策投資銀行エネルギー部次長、調査部審議役等を経て現職。著書に『再生可能エネルギーの真実』『ドイツエネルギー変革の真実』『アメリカの電力革命』等多数。



加藤 修一(かとう しゅういち)

京都大学特任教授。北大地球環境科学研究科修了、学術博士。小樽商科大学教授を経て参議院議員3期18年、環境副大臣を歴任。「バイオマス活用推進基本法」、気候変動対策推進基本法」等の議員立法活動。自然エネルギー促進議員連盟を有志と創設・事務局長に就任、「自然エネルギー発電促進法」の立法化等に取り組むなど。



内藤 克彦(ないとう かつひこ)

京都大学特任教授。東京大学工学部卒業、同工学研究科で修士号取得。環境省地球環境局地球温暖化対策課調整官、国交省自動車交通局リコール対策室長、環境省総合環境政策局環境影響審査室長、同省水・大気環境局自動車環境対策課長、東京都港区副区長等を歴任し現職。論文に「EUの温暖化対策戦略における再生可能エネルギーの位置づけ」等多数。



安田 陽(やすだ よう)

京都大学特任教授。1989年横浜国立大学大学院博士課程修了。博士(工学)。関西大学システム理工学部准教授を経て2016年9月より現職。著作に『日本の知らない風力発電の実力』『世界の再生可能エネルギーと電力システム(風力発電編)』、翻訳書(共訳)に『洋上風力発電』『風力発電導入のための電力系統工学』など。

東 愛子(あずま あいこ)

尚綱学院大学総合人間科学部准教授。京都大学大学院経済学研究科博士後期課程修了博士(経済学)。北海道大学公共政策大学院博士研究員を経て2014年より現職。近著に「ドイツにおけるキャパシティ・メカニズムの制度設計」:Strategic ReserveとCapacity Marketを中心に」諸富徹編著『電力システム改革と再生可能エネルギー』日本評論社



中山 琢夫(なかやま たくお)

京都大学大学院経済学研究科特定助教。博士(政策科学)。JST-RISTEXプロジェクト研究員、京都大学大学院経済学研究科研究員等を経て現職。「分散型再生可能エネルギーによる地域付加価値創造分析」「ドイツのシュタットベルケは配電網の再公有化をとおして何を狙っているのか？」他論文多数。



小川 祐貴(おがわ ゆうき)

株式会社イー・コンサル 研究員。京都大学大学院地球環境学舎博士後期課程在籍。博士(地球環境学)取得見込。研究テーマは分散型エネルギー資源が地域経済に与える影響について。自治体のエネルギー・環境政策策定支援にも関わる。



杉本 康太(すぎもと こうた)

京都大学大学院経済学研究科博士後期課程

陳 奕均(ちん いーちゆん)

京都大学大学院地球環境学舎博士後期課程

白石 智宙(しらいし ちひろ)

京都大学大学院経済学研究科修士課程

廣田 駿介(ひろた しゅんすけ)

京都大学経済学部4回生

【会場案内】

